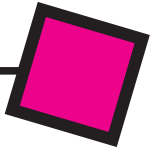


2021年度 年報



NIZE LAB

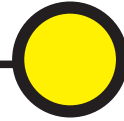


一般社団法人 タテノイト





目次



CONCEPT 02

CONTENTS 03

① 問いの芽（平日の学びの場）

活動場所の整備、スタッフ研修 04

新拠点建設中 05

説明会の開催、体験会の開催 06

② NAZELAB図書室（放課後の居場所）

放課後実験室 07

③ NAZELAB Petit（親育ちの場）

心配を信頼に変える「勇気づけ子育て」とは？ 08

④ 問いの種（イベント）

羽釜で七草がゆの会 09

惑星観望会・土星のリングと木星のしましまを見てみよう！ 10

電子顕微鏡で「見えない世界」を見てみよう！ 11

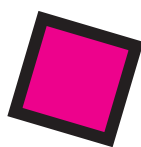
東大の研究者に会いに行こう！ 12

川遊びが100倍楽しくなる！地球と向き合う石の話し【大人限定】 ... 13

春なのに？お芋フェス 14

SUPPORT 15

関係機関や団体、メディア紹介 16





CONCEPT

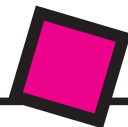
子どもと大人が集い、 多様な学びが広がる場の創出を目指します。

知識習得に偏りがちな日本の集団教育には、平均からの逸脱が認められにくい面があります。こうした環境で他人との比較や評価にさらされ続けると、子どもたち一人ひとりが本来持っている個性や感性が十分に発揮されず、「自己受容感」や「自己肯定感」を持ちにくくなります。

NAZELABでは、子どもも大人も何かを「できる/できない」ではなく、自分が「したい/したくない」を大切にします。人間は生まれながらに好奇心や向上心を持っています。**他者との比較から解放**され、これらを素直に発揮できる場で、自己受容感・自己肯定感を育みます。

子どもと大人が一個人としてフラットに繋がる特別な空間で、自分自身を大切にすること、他者を尊重する気持ちを育むことができるのではないのでしょうか。

NAZELABの学びは、オンラインではなく、**リアルな体験**の中にあります。主な活動として、子どもたちの旺盛な好奇心をくすぐる町内の**森や川などをフィールドとする野外活動**、子どもたちの”知りたい”を追究し**新たな知を生み出す研究活動**、子どもたちの世界観を広げる**サイエンス関連のワークショップ**等を行います。さらに、子どもたちと関わる保護者やスタッフも自分らしくいられる場所を目指し、**大人にとっても育ちの場**となるような活動にも取り組みます。





CONTENTS



1

問いの芽(平日の学びの場)

for 小中学生

どんなに些細な”知りたい”や”やってみたい”でも、学びに繋がります。それを一緒に面白がる仲間とともに深めていく場です。

横瀬町の豊かな自然の中での活動では、たくさんの”知りたい”や”やってみたい”に出会います。カリキュラム等は設けず、子どもたちが”知りたい”や”やりたい”を見つけ、没頭する時間を大切にします。スタッフは、子どもたちの好奇心に伴走することで、興味を深め、そして広げていきます。自ら成長できる限りないポテンシャルを持つ彼らを信じ、その純粋な探究心に寄り添い、主体的学びをサポートします。

家庭の経済状況によらずに利用できるよう、奨学生制度を設けます。

2

NAZELAB図書室(放課後の居場所)

for 小中学生

放課後に子どもたちや大人が”やりたい事”を持ち寄り、子ども同士や子どもと大人がゆるやかに繋がれるコワーキング・コスタディスペースを開所します。人との出会いや他の子どもたちや大人の”やりたい事”との出会いを通し、子どもたちの世界観が広がる場所を目指します。

また、子どもたちが調理や片付けを行う、子ども主体の子ども食堂を開催します。

3

NAZELAB PETIT(親育ちの場)

for 保護者のみなさま

保護者の自己受容感・自己肯定感は子どものそれらに強く影響を及ぼします。

保護者もまた自分らしさを発揮したり、子育ての悩みや喜びを共有・共感し合える大人の居場所も運営します。

4

問いの種(イベント)

for 子どもから大人までの地域のみなさま

たくさんの”なぜ?”や”やってみたい”に出会えるようなサイエンス関連のワークショップ・多様な生き方・仕事をしている大人と出会えるトークイベントを休日に開催します。



問いの芽(平日の学びの場)

for 小中学生

●活動場所の整備

NAZELABでは、町内の森を整備して、子どもたちと過ごせる場所を作っています。間伐材を使って、ツリーハウスや東屋を建てる計画です。現在、伐採や下草の整理をし、手入れを進めています。林学の研究者・石田健さん(元東京大学大学院農学生命科学研究科准教授)、地図学・地理学の研究者・古橋大地さん(青山学院大学地球社会共生学部教授)にご指導、監修を頂いています。そのほか地域のみなさまにもご協力頂き、ありがとうございます!



NAZELABの平日昼間の活動場所は、この森と新拠点を中心に使っていきます。ここで子どもたちと遊んだり読書したりボーッとしたり。もちろんここを使う子どもたち自身も作業に関わっています。

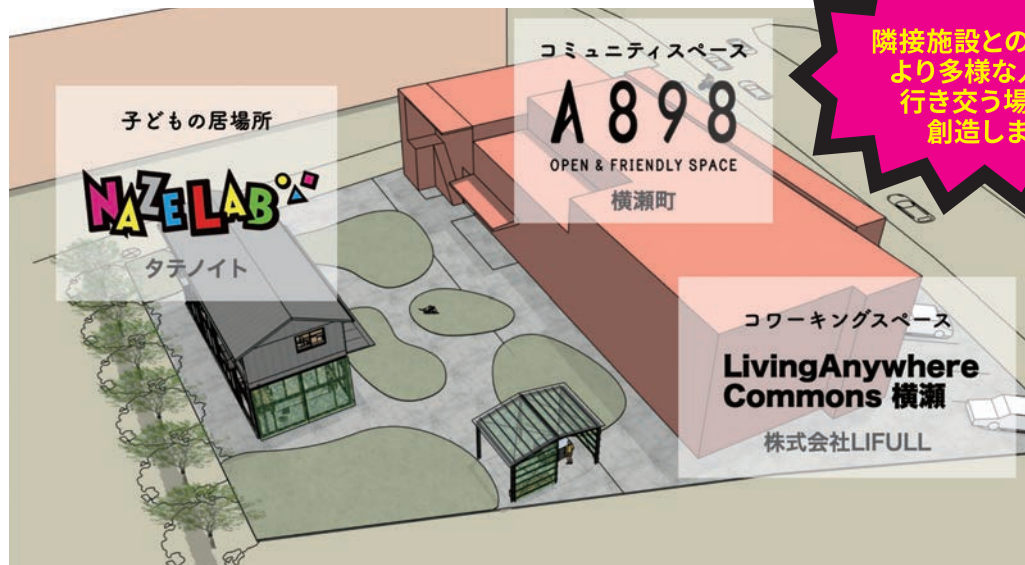
●スタッフ研修

2022年度4月より子どもたちが安心・安全に活動できるよう、活動拠点の森を中心にフィールドを確認するなどしました。また、日本財団が運営団体に提供しているオンライン研修を通し、子ども支援の在り方などへの理解を深めました。



●新拠点建設中

NAZELABの新拠点は、ちちぶ農業協同組合（JAちちぶ）横瀬支店の、一部機能の本店への集約化に伴い遊休資産化する施設の有効活用として、同支店敷地内に開設します。ともに同敷地内に位置する既存の地域のコミュニティスペース「オープン&フレンドリースペース エリア898（運営：横瀬町）」および2022年4月にオープン予定の、コワーキング環境と宿泊機能が整った「LivingAnywhere Commons横瀬（運営：株式会社LIFULL）」と連携し、地域、世代、背景を越えた多様な人々が行き交う場所の構築を目指しています。



【建設工事現場】

